

コード	601031201
記入日	H21.6.8

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	竹中次郎
担当者	川口 力

作成年度	平成 21 年度
------	----------

事務事業事後評価表

評価対象事業名称	産業振興の企画調整事業費
----------	--------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ～ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行政による協働のまちづくり	款コード	2
施策コード	601	施策名称	行財政の効率化の推進	項コード	1
基本事業コード	60103	基本事業名称	効率的、効果的な財政運営と事務事業の見直し	目コード	6
事務事業コード	6010312	事務事業名称	地域振興等事業費	細目コード	
関連計画			法令・条例規則等		

計画 (PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象:誰、何を対象にしているのか			対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 町内事業所			(対象指標1) 1,520社(参考:事業所・企業統計調査)				
(対象2)			(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)		
民間焼酎工場の設立にむけ、企画・調整を行った。		会社設立後も地域資源(さつまいも)の確保また、各種制度の支援等を行った。	訪問回数	86回	86%	訪問回数÷訪問予定回数	平成20年度
			訪問回数	30回	60%		平成20年度
			(達成率分析) 五島灘酒造の訪問希望に対してある程度応えることができた。				
			(達成率分析)				
目的:何をしたいのか			成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
減少する町内事業所の歯止めや、地域産業の活性化及び新分野の産業立ち上げなどのために、調査・研究・企画・調整を図ることを目的としている。これにより、雇用の促進を図るものである。			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			事業化できた件数	1件	100%	事業化できた件数1件÷企画立案件数1件	平成20年度
			事業化できた件数	1件	100%		平成20年度
			(達成率分析) 平成19年2月に会社設立し平成20年3月に蒸留も終了し、平成20年10月1日に初出荷に至った。				
			(達成率分析)				

実施 (DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。					
	単位	全体計画	H 17 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度
		計画	実績	実績	計画 実績
活動指標	① 回	106	86	56	50 30
	②				
成果指標	① 社	1	1	0	1 1
	②				
総事業費C (A+B)		千円	21,000	21,000	19,600 1,400 1,400
直接事業費A		千円			
人件費B		千円	21,000	21,000	19,600 1,400 1,400
内訳	従事職員数	人	3.0	3.0	2.8 0.2 0.2
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000 7,000 7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円			
	県補助金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
一般財源		千円	21,000	21,000	19,600 1,400 1,400

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	産業を振興するため行政が環境づくりをする必要があった。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	町内のおかれている情勢を考慮して行う必要があった。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	産業の活性化であり、適切であった。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	会社設立により一応の目的は達成された。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	担当課、関係者との連絡を密にし、各種産業が抱える問題点を把握することにより成果は向上する。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	失業者、転出者が増え、人口の流出につながる。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	企画、立案なので直接事業費はない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	最小の人員で行っている。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 平成21年度から産業再生推進本部を立ち上げ横断的に対応することとした。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	地域の産業の活性化及び新分野の産業の立ち上げに向け、「五島灘酒造」設立においては、企画・調整の役割を果たせた。今後はこのノウハウを持って、更なる地域産業に振興に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。